

ダンスの革新者たち。ダンス史上に燦然と輝く2人のアメリカ人 Trisha Brown & William Forsythe

トリシャ・ブラウン。1960年代のアメリカで、それまでのバレエやダンスがもっていた制約を見直し、同時代に生きる他ジャンルのアーティスト達と共に、ダンスの新たな可能性を探る。日常的なことがらや仕草を取り入れ、即興的な動きからダンスを生み出すことで、ダンスの根源を問い直した振付家。
ウィリアム・フォーサイス。1980年代はじめにフランクフルト・バレエ団というオペラ座付きのバレエ団に身を置きながら、クラシックバレエ言語を容赦なく解体し、現代に相応しい新たなバレエ/ダンス言語メソッドを開発した振付家。
バレエ、ダンスの限界に果敢に挑み、その可能性を大きく広げた二人の革新者。その二人の作品が埼玉で上演されます。

Trisha Brown

トリシャ・ブラウン・ダンス・カンパニー

Dance Company

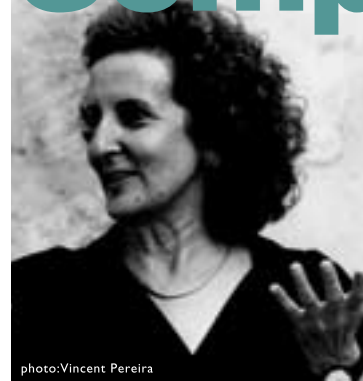


photo:Vincent Pereira



photo:Bruce R.Feely



photo:Nan Melville, 2005

ポストモダン時代に登場した、世界的に最も評価の高い振付家の一人。1960年代のニューヨークの前衛芸術運動、ジャドソン・ダンス・シアターで活動を開始したブラウンは、イヴォンヌ・レイナーやステイーヴ・パクストンらとともに、ダンスのあり方を根源的に問い直し、振付の限界に挑むことで、ダンスの歴史に大きな変革をもたらした。1970年には自らの舞踊団を設立。屋根や壁を含めたあらゆるオルタナティブ・スペースを利用して、初期のダンス作品を作り出していった。重力を使って反重力に挑んだ伝説的な作品『建物の壁を歩く』(1971)は、身体の非日常的なコンテキストを模索する、若い振付家や舞台演出家たちの作品に多大な影響を与えた。80年代には、いくつかの作品群を関連づけ、「サイクル」と

いう概念を導入することで、自らの複雑な動きの考え方を模索する試みをはじめた。1983年には、ロバート・ラウシェンバーグ/ローリー・アンダーソンとのコラボレーション『セット・アンド・リセット』(1983)が、「サイクル」の概念を初めて全面的に展開した『Unstable Molecular Structure (不安定分子構造)』のレパートリーに加えられ、流動的で予測不可能な幾何学的スタイルが確立された。近年も、現代ジャズ音楽の構造を探求した、『グルーヴ・アンド・カウンタームーヴ』を含む3部作『エル・トリロジー』(2000)で、21世紀を予告する新たな方向性を示し、パリ・オペラ座バレエ団の委嘱により、新作『O zlozony/O composite』(2004)を振り付けるなど、旺盛な活動を展開している。

トリシャ・ブラウン・ダンス・カンパニー

3月24日(金) 19:30
3月25日(土) 15:00
3月26日(日) 15:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場大ホール

【一般】
S席 7,000円 A席 5,000円
学生A席 2,000円(全席指定・税込)
【メンバーズ】
S席 6,300円 A席 4,500円

【演目】
『アキュムレーション ウィズ・トーキング・プラス・ウォーターモーター Accumulation with Talking plus Watermotor』(映像上映)
監督:ジョナサン・デミ 振付・出演:トリシャ・ブラウン 製作:1979年

『セット・アンド・リセット Set and Reset』
振付:トリシャ・ブラウン 音楽:ローリー・アンダーソン
美術:ロバート・ラウシェンバーグ 初演:1983年

『プレゼント・テンス Present Tense』
振付:トリシャ・ブラウン 音楽:ジョン・ケージ
美術・衣裳:エリザベス・マーレイ 初演:2003年

『グルーヴ・アンド・カウンタームーヴ Groove and Countermove』
振付:トリシャ・ブラウン 音楽:デイヴ・ダグラス
美術:テリー・ウィンターズ 初演:2000年

The Forsythe Company 2006

フォーサイス・カンパニー 2006



photo:stephan floss photo



"One Flat Thing, reproduced" photo:Dieter Schwer Dancers: Ballett Frankfurt

2004年、フォーサイスが20年にわたり芸術監督をつとめ、世界のダンスシーンをリードしてきたフランクフルトバレエ団は解散。フォーサイスは彼自身のプライベート・カンパニー The Forsythe Companyを新たに立ち上げ、2005年1月よりその活動を開始。カンパニーはザクセン州、ヘッセ州、ドレスデン市、フランクフルト・アム・マイン市、スポンサーより支援を受けて運営している。現在は18名の専属ダンサーがフォーサイスと創作活動を共にし、05年4月の新カンパニーのワールドプレミア公演を皮切りに、フランクフルト、ドレスデンを拠点に世界各国で公演を行っている。

Profile プロフィール

ウィリアム・フォーサイス

1949年ニューヨーク生まれ。ジョフリー・バレエ学校にて学ぶ。73年にシュトゥットガルト・バレエ団にダンサーとして入団するが、その後、振付に専念。84年フランクフルトバレエ団の芸術監督に就任。99年よりフランクフルトの実験的シアターであるBockenheimer Depot (TAT)の芸術監督も兼任。04年7月にフランクフルトバレエ団の芸術監督を退くと共にフランクフルトバレエ団は解散、05年1月、自身のカンパニー The Forsythe Companyを結成、現在に至る。現代を代表する振付家として活躍し、世界各地のバレエ団がフォーサイスの作品をレパートリーとしている。

The Forsythe Company 2006

【Aプログラム】
"You made me a monster"
Performance-Installation 日本初演
2月28日(火)/3月1日(水)
1日4回 17:00/18:00/19:00/20:00
(オールスタンディング・各回85名限定 入替制)
【一般】 前売 8,000円 当日 8,500円
【メンバーズ】 前売 7,200円 当日 7,650円

【Bプログラム】
"Clouds after Cranach"
"7 to 10 Passages"
"One Flat Thing, reproduced"
3月4日(土) 19:00
3月5日(日) 16:00
【一般】
前売 S席 10,000円 A席 8,000円
学生B席 5,000円(前売のみ)
当日 S席 11,000円 A席 8,500円
【メンバーズ】
前売 S席 9,000円 A席 7,200円
当日 S席 9,900円 A席 7,650円
各プログラム彩の国さいたま芸術劇場大ホール